

いろいろな昆虫の模型の「比較」から考える昆虫のからだ

第3学年「こん虫をしらべよう」

伊万里支部 伊万里小学校 古竹 幸子

1 単元計画 (本時6/6)

第1次 (3時間) 昆虫の体を調べよう。

- ①いろいろな昆虫の体のつくりを調べる。(2時間)
- ②目・口・触角がどこについているか調べる。(1時間)

第2次 (1時間) 昆虫の育ち方を調べよう。



第3次 (2時間) 昆虫の食べ物とすみかを調べよう。

- ①昆虫の食べ物とすみかを調べる。
- ②昆虫の体を模型にしよう。(本時)

2 本時の目標

・昆虫の体のスケッチをもとに昆虫の体が三つに分かれており、胸に羽や足がついていることを理解し、模型で表すことができる。

3 授業の実際

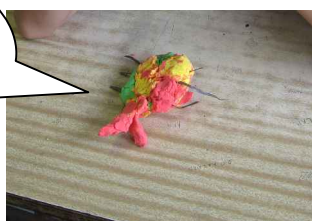
児童の活動内容や主な反応	具体的な指導 (理科指導のポイント)
<p>1 前時までの学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none">・モンシロチョウは頭・胸・腹の三つに分かれていたよ。・足は6本ついてたよ。胸についていた。・羽は4枚あったよ。カブトムシは硬い羽と柔らかい羽がついているよ。	<p>○昆虫の体のつくりを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none">・頭・胸・腹の3つに分かれていること胸から足や羽がついていることを押さえておく。・目・口・触角についてもそれぞれの昆虫に特徴があることを押さえておく。・単元を通して頭を赤、胸を黄、腹を緑に色を塗ることで視覚的にもわかりやすくする。
<p>こん虫のもけいをつくろう</p>	
<p>3 昆虫の体を模型にする。</p>  <p>トンボは腹が長いよ。 羽は4枚あったよ。</p>  <p>チョウは足は6本で胸から出ていたよ。</p>	<p>○はじめに体を作らせることで、体が3つに分かれていることを確認させる。わかりやすいように、3つの色に分けるようにし、中に針金を入れて丈夫にする。</p> <p>○体ができあがったら、目・触角・口を作らせる。</p> <p>○羽や足を作らせる。羽は画用紙を使い、足はモールなどを使用することで、模型作りが苦手な児童にも作りやすいようにする。</p>

3 友だちの作品を見て、感想を書く。



クワガタの挟むところは、頭なんだね

カブトムシの角も頭なんだね



4 本時の学習を振り返る。

○ 模型ができたら、友だちの模型を見て回り、いろいろな昆虫の体のつくりについて自分の模型と比較し、同じところや違うところを見つける。

○ 昆虫の体のつくりを確認する。

4 考察

第1次では昆虫の観察ではクモを捕ってきた児童がいて、クモとモンシロチョウを比較しからだのつくりを学級で確かめることができた。モンシロチョウを育てチョウのからだのつくりをスケッチすることができた。しかし、この単元の始めに自分で捕ってきた昆虫を観察したが、時期が早かったこともありバッタはまだ幼虫で羽が無かったり、トンボがあまりいなかったりと十分に昆虫の体の比較ができなかった。その後児童は、学習が進むにつれてすすんでいろいろな昆虫や生きものを捕ってきては観察をする姿が見られた。

自分でとってきた昆虫のスケッチをもとに模型を作るつもりだったが、カブトムシやクワガタについて調べたいという児童がいたので図鑑で調べたスケッチをもとに模型を作ることにした。色つきの紙ねんどを使い頭・腹・胸を一つずつ作ったが、「軽い紙ねんど」を使ったためか何度も作り直しこねるとぼろぼろとなりうまくいかない模型もあった。

足には園芸用のビニール膜のある針金を使った。曲げたりすることができ使いやすかったし、それを芯にしてつなげると3つの部分もつなぎやすかった。

いろいろな友だちの昆虫のつくりを比較しながら、興味を持って体のつくりを確認する学習ができたと思われる。